

漁海況情報第6報 (2016年9月6日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

表面水温は平年より1~3℃高め、100m深は142° E以東で4℃以上高めとなっている。

宮城県沿岸から沖合海域の表面水温は、22~26℃台となっています。平年と比較すると、仙台湾は1~2℃高め、金華山沖は1~3℃高めとなっています。

100m深水温は11~15℃台となっています。平年と比較すると、38° 50' N (気仙沼沖) の141° 50' E付近では平年より低くなっている以外は、平年よりも高めとなっており、特に142° E以東では4℃以上高い海域が広く分布しています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

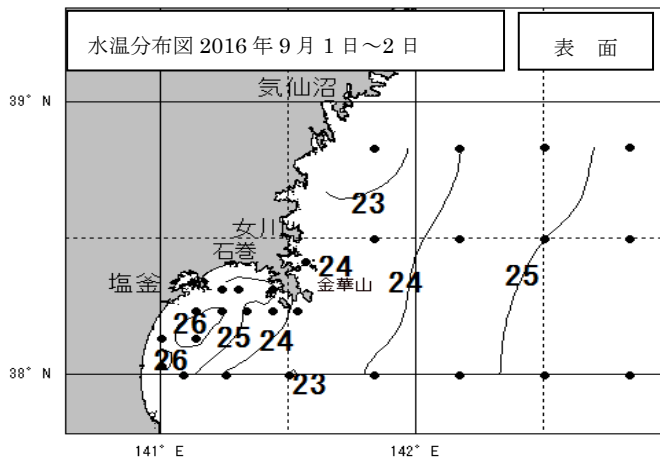
水温鉛直断面図をみると、前月より表層付近の等温線の間隔が広がってきました [P2. 水温鉛直断面図]。

(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、北上暖水の勢力が強勢ですが、親潮系冷水も分布域を拡大しています。[P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

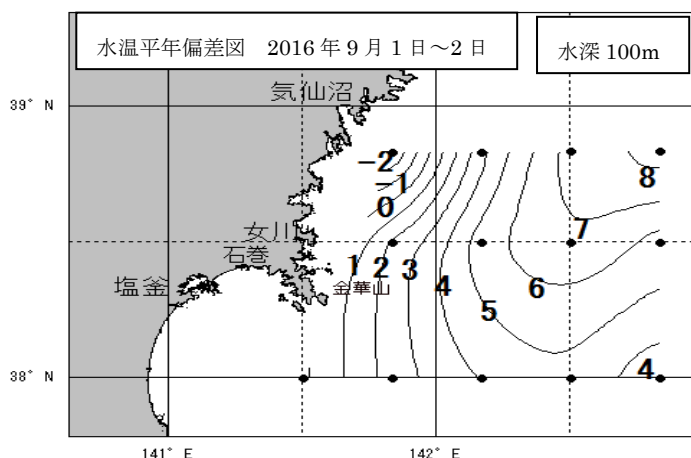
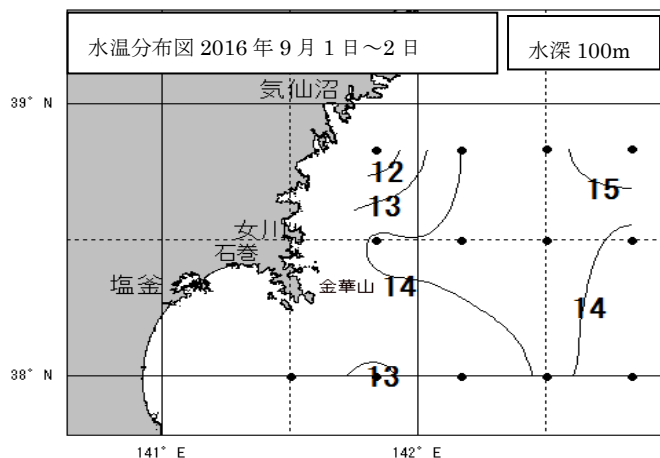
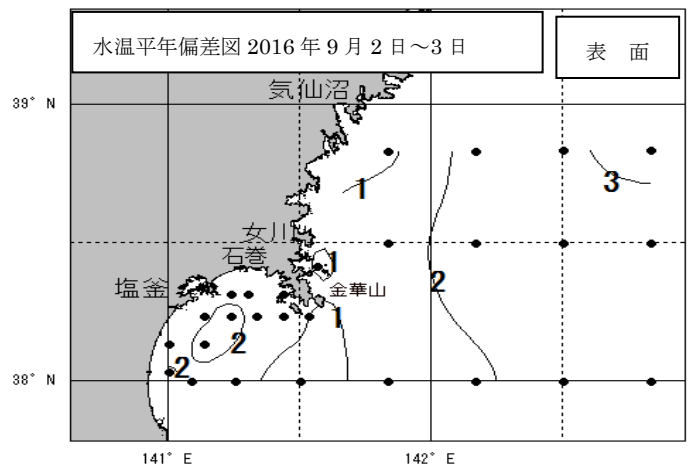
8月下旬の定地水温は22~26℃台となっています。平年値との比較では、気仙沼、江島、佐須浜でいずれも平年よりやや高めとなっています。桂島は前年より3.3℃高めとなっています。亶理はブイの不具合により8月3日から観測を休止しています [P2. 定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、8~22℃台となっており、仙台湾で高くなっています [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図

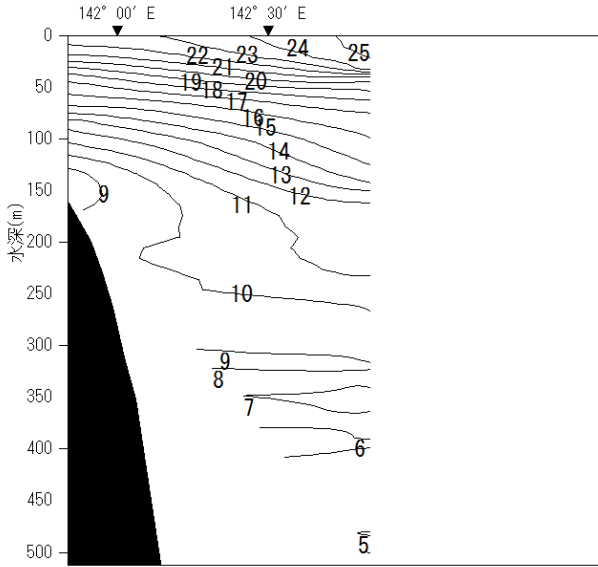


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

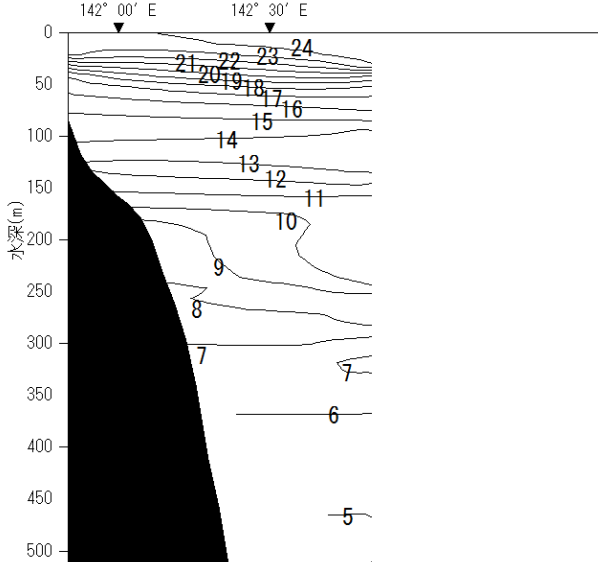


・水温鉛直断面図

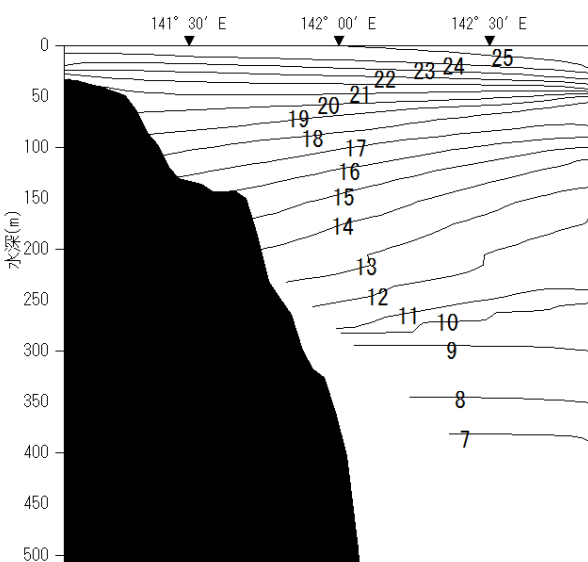
38° 50' Nライン(気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン(雄勝沖合ライン)

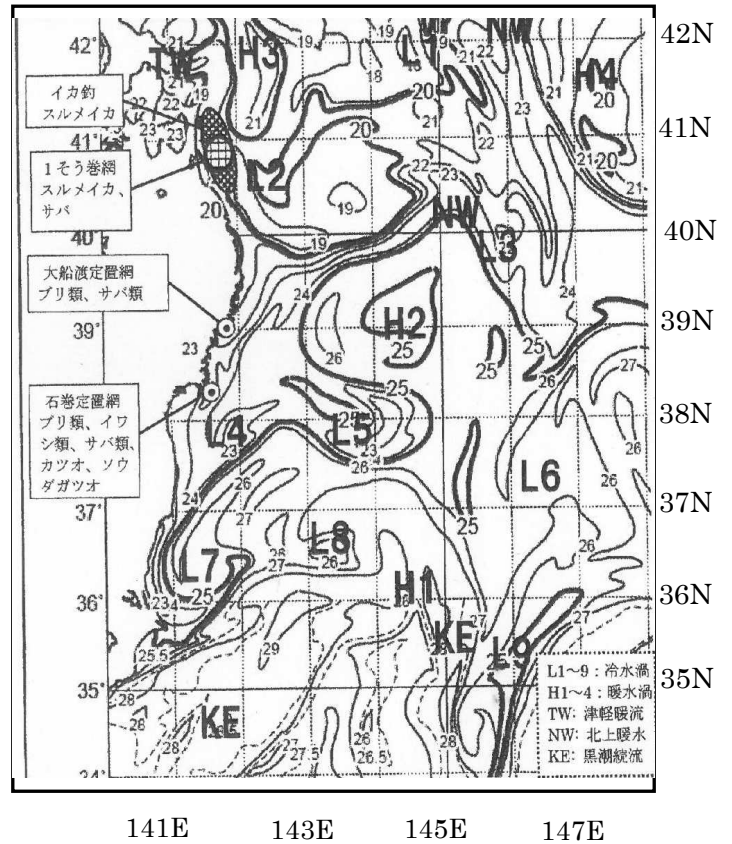


38° Nライン(亶理沖合ライン)



2016年9月1日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

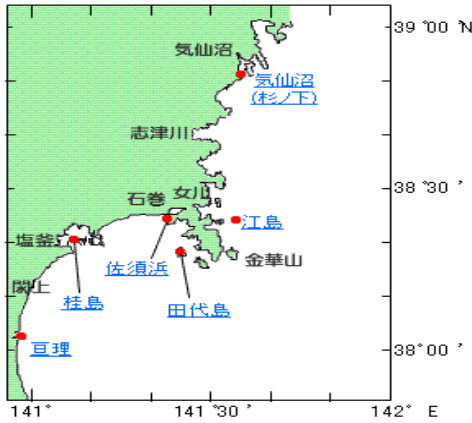
【海況】(9月1日表面水温)

- ・北上暖水は引き続き強勢だが、道東沿岸から南下する親潮系冷水(18~19°C台)の分布域も拡大。
- ・黒潮(KE: 27~29°C台)は南房総に接岸後、東北東に進み、一部は常磐沖まで北上、145°E付近で南下。
- ・20~24°C台の北上暖水が道東まで接近。
- ・津軽暖流(TW: 22°C台)は141°Eまで後退。
- ・沿岸の混合水は1°C前後降温、20~22°C台が青森~金華山、23~24°C台が仙台湾~鹿島灘に分布。

【漁況】(8月30日~9月1日)

- ・まき網: 9月1日夜に八戸沖で20カ統が操業、スルメイカとサバ混じりを400トン程度漁獲。
- ・定置網: 金華山周辺と大船渡は時化のため低調。
- ・カツオ竿釣: 宮城沖143°E付近と岩手沖148°E付近で操業。平均7.5トン/隻・日
- ・カツオ・マグロまき網: 9月2日から操業再開。
- ・スルメイカ: 釣りは八戸のみ操業。
- ・サンマ棒受網: 花咲主体に53隻が計1,245トンを手揚げ。

・定地海洋観測



観測点	8月下旬	平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	23.0℃	やや高め	1.4℃
江島	22.6℃	やや高め	1.2℃
佐須浜	25.4℃	やや高め	1.1℃
桂島	26.7℃	-	3.3℃
巨理	-℃	-	-

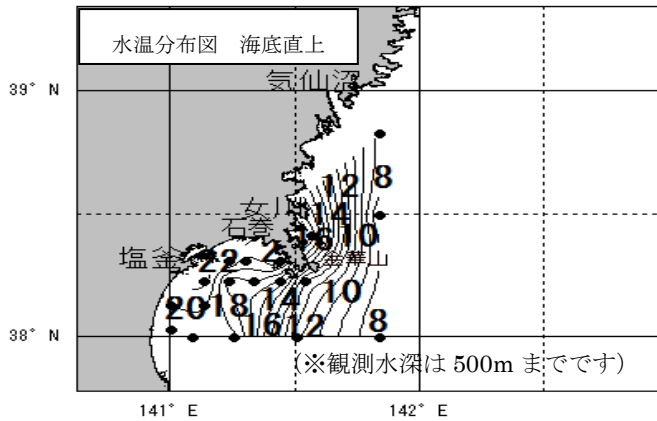
※田代島と巨理は自動観測装置による観測を中断しています。
 ※平年差
 岩井崎 (30年)
 佐須浜 (10年)
 桂島 (平成24年3月から観測開始)
 巨理 (平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

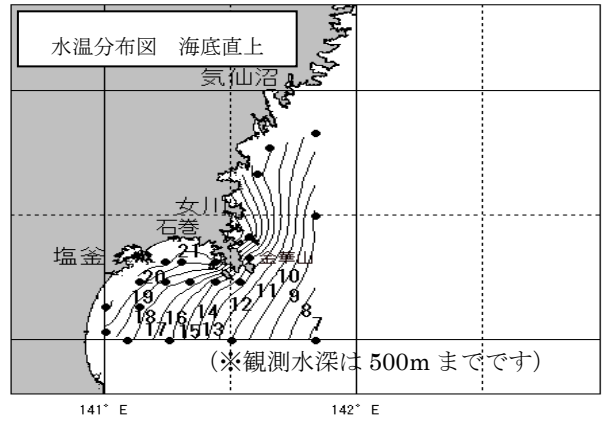
「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/201503suion-index.html>」でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2016年9月1日~2日)

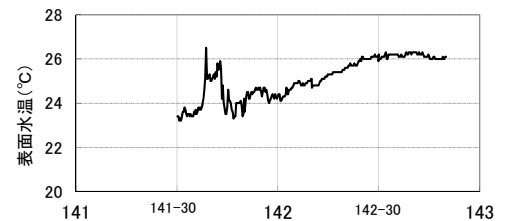
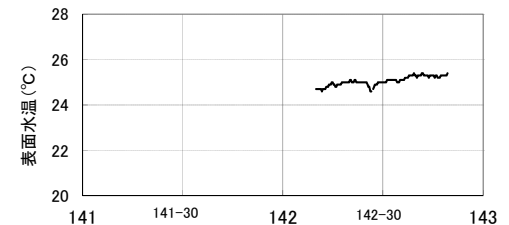
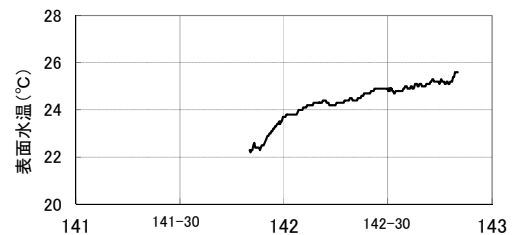
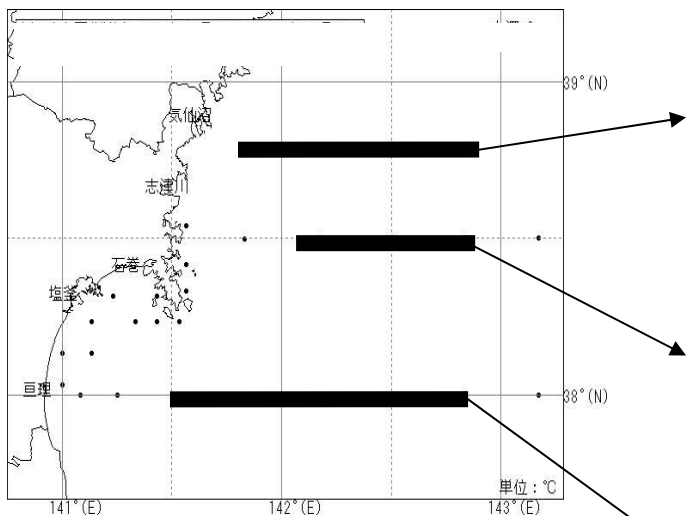


・海底直上水温(2015年9月1日~2日)



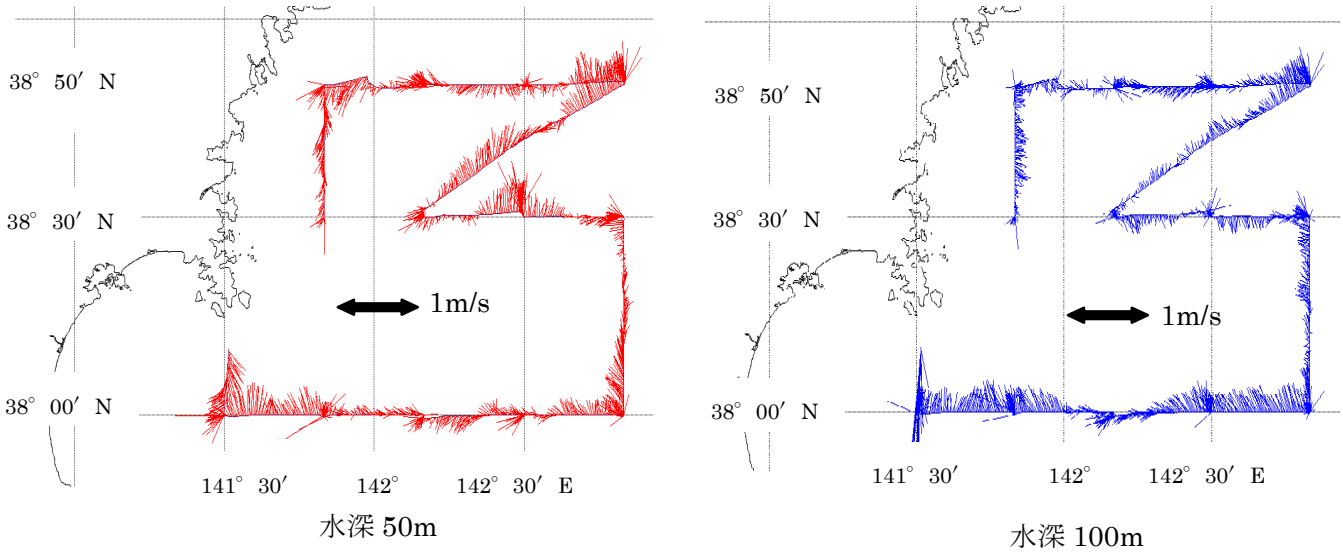
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



※潮汐成分は除去されておりません。流向は測線から伸びている方向に流れがあることを示しています。

4. 漁況

平成 28 年 8 月の水揚量を見ると、昨年同月比でキハダ、マイワシ、スルメイカ、ブリ、カナガシラ、ガザミなどの水揚げが増加しています。一方、カツオ、ビンナガ、メバチ、サンマ、マアジ、サワラ、マダラなどの水揚げが減少しています。

主要魚種の県内10魚市場水揚量(集計期間:平成28年8月1日~8月31日)

単位:トン

魚種	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網 全漁法	イカ釣り	延縄	その他	総計	前年比
カツオ			676		2,621	13			0	8	3,318	30%
ビンナガ			15		15				10	2	43	5%
クロマグロ(メジ含む)			140			1			1	8	150	104%
メバチ(ダルマ含む)			1		17				56	3	77	46%
キハダ(キメジ含む)			1,257		52	0			7	3	1,320	343%
マイワシ		0				142				29	171	304%
カタクチイワシ						57					57	93%
サバ類		1				509	0			15	525	41%
サンマ				23						2	25	14%
ブリ		0			0	196	0			7	202	126%
マアジ		14				35	0			1	50	16%
サワラ			0			15	0		0	0	15	63%
スルメイカ		2				8		5		0	14	320%
カナガシラ		21				1	0			0	23	222%
マダラ		0				0	0			106	106	33%
ヒラメ		16				3	29			7	56	78%
マコガレイ		51				0	3			2	56	85%
マガレイ		6					0			0	6	87%
ガザミ		5	34			0				41	81	171%

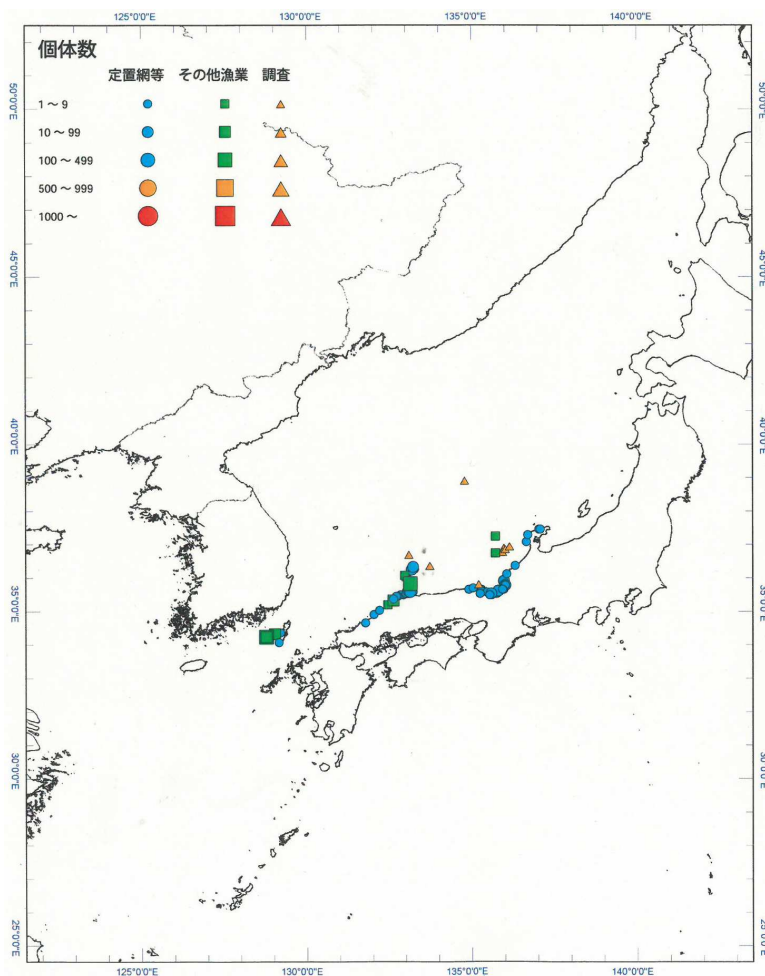
※宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

※空欄は水揚げがないことを示し、0は1トン未満の水揚げを示す。

5. 大型クラゲ情報

(一社)漁業情報サービスセンターによると(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>), 今年(2016年)は6月下旬から7月上旬に対馬で定置網への入網が確認され9月上旬現在, 最先端は能登半島沖まで達しています。9月5日の情報では, 対馬沖、能登沖などで底曳網への入網があり, ややまとまった入網があった対馬では袋網を開けて網揚げしています。また旋網では山陰で今年初の入網がありましたが, 操業の支障となるような状況にはなっていない模様です。

現在のところ, 全国的に被害が大きかった2009年のような大量の来遊ではないとの見方は変わっていませんが, 今年(2016年)は本県への来遊の可能性がります。



漁業情報サービスセンター (2016年9月5日現在)

(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)

6. 調査船運航計画

みやしお	
9月12日 ~ 9月14日	カレイ類発生量調査
9月20日 ~ 9月21日	イカ釣り調査
9月26日 ~ 9月28日	イカナゴ爪曳き調査
開洋	
9月12日 ~ 9月13日	刺し網調査
9月20日 ~ 9月21日	マアナゴ漁獲調査
9月26日 ~ 9月27日	刺し網調査
9月29日	二枚貝資源調査